

2024年3月期 第3四半期決算概要および 2024年3月期 連結業績予想修正（補足資料）

2024年2月9日
サクサ ホールディングス株式会社



■ 将来見通しに係わる記述についての注意事項

本資料に記載されている業績予想、将来予想については、現時点における事業環境に基づき当社が判断した予想であり、今後の事業環境により実際の業績が異なる場合がありますのでご承知おきください。

■ 本資料における数値の表示方法

本資料に記載されている各項目の数値は、それぞれの数値の億円未満を四捨五入して表示しています。また、増減については、億円単位の数値を元に計算しています。

1

2024年3月期 第3四半期決算概要

1-1 連結損益計算書

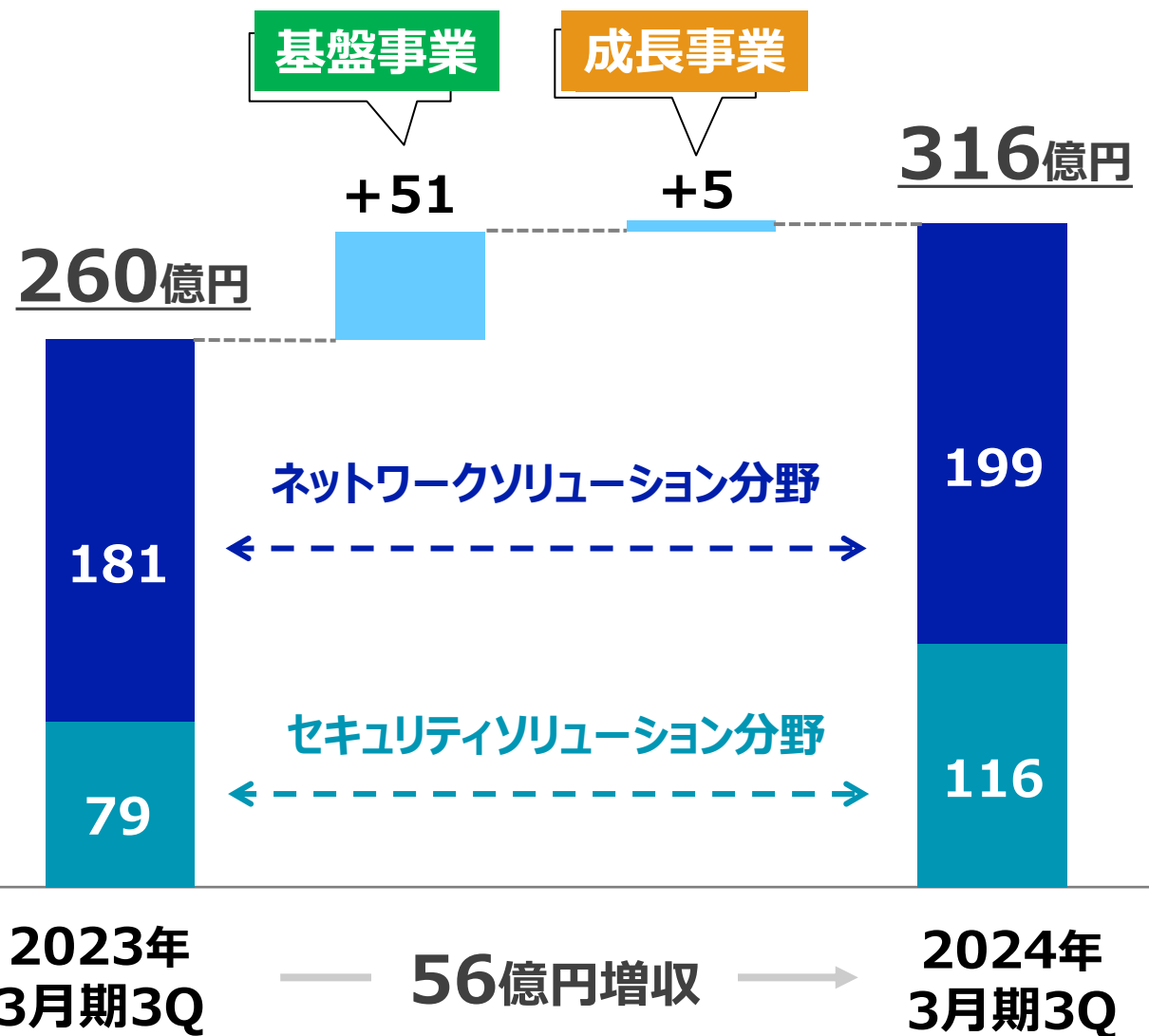
(単位：億円)

	2023年3月期 3Q(A)	2024年3月期 3Q(B)	増減	
			(B - A)	比率
連結売上高	260	316	+56	+22%
ネットワークソリューション分野	181	199	+18	+10%
キーテレホンシステム	96	103	+7	+7%
ネットワーク機器他	85	96	+11	+13%
セキュリティソリューション分野	79	116	+37	+47%
セキュリティシステム	50	79	+29	+58%
部品他	30	38	+8	+27%
連結営業利益	10	27	+17	+170%
連結経常利益	10	28	+18	+180%
親会社株主に帰属する四半期純利益	3	20	+17	+567%
1株当たり四半期純利益	46.34円	336.24円	289.90円	+626%
ROE	1.0%	7.7%	+6.7%	+670%
配当	—	—	—	—

部品等の調達難解消に伴い、上期に引き続き、前年同期比で増収増益

1-2 連結売上高の主な増減内訳

(単位：億円)



	2023年3月期 3Q(A)	2024年3月期 3Q(B)	増減 (B-A)
基盤事業	108	121	+13
	78	116	+38
	186	237	+51
成長事業	73	78	+5
	1	1	△0
	74	79	+5

基盤事業 : ボタン電話装置、公衆電話、防犯設備機器、アミューズメント、EMS、その他

成長事業 : ビジュアルソリューション、SIビジネス、ネットワークアプライアンス

1-3 連結売上高の事業別増減内訳

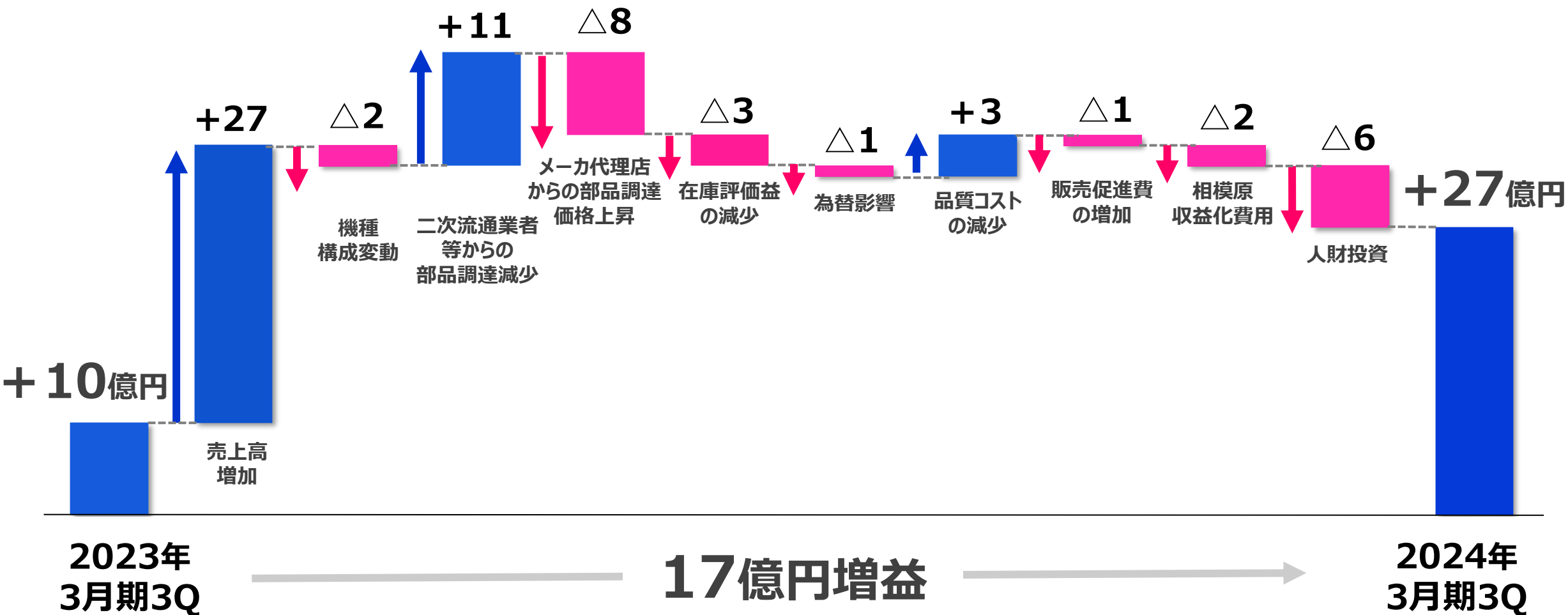
(単位：億円)

区分	2023年3月期 3Q(A)	2024年3月期 3Q(B)	増減 (B-A)	
基盤事業	ボタン電話装置	97	107	+10
	公衆電話	7	8	+1
	防犯設備機器	22	23	+1
	アミューズメント	38	72	+34
	EMS	20	25	+5
	その他	3	2	△1
	計	186	237	+51
成長事業	ビジュアルソリューション	10	12	+2
	ネットワークアプライアンス	45	46	+1
	SIビジネス	20	21	+1
	計	74	79	+5
合計	260	316	+56	

ボタン電話装置は、部品等の確保によりお客様需要に対応、新商品販売好調、販売パートナー店内シェアアップ
アミューズメントは、新カードユニット入替需要の高まりから、カードリーダー等の受注増加などにより増収

1-4 連結営業利益の主な増減内訳

(単位：億円)



上期から継続して、メーカー代理店からの部品調達価格の上昇や人財投資費用の増加はあったものの、二次流通業者からの部品調達の減少に加え、売上高の増加などが利益に大きく貢献し増益

1-5 四半期毎の業績の推移

(単位：億円)

	2024年3月期 1Q (4月～6月)	2024年3月期 2Q (7月～9月)	2024年3月期 3Q (10月～12月)
連結売上高	108	112	97
連結営業利益	12	9	5
連結経常利益	13	9	6
親会社株主に帰属する当期純利益	9	6	4

【1Q-2Q】

資材および部品調達難の解消

2023年3月末の受注残高の消化

自社ブランドボタン電話装置の販売パートナーの店内シェアアップ

アミューズメント市場向け新カードユニットの入替需要が高水準で推移

【3Q】

販売パートナーの在庫増にともなう需給調整

アミューズメント市場向け新カードユニットの入替需要が高水準から平準化

以降も3Q同様のトレンドとなる想定

1-6 連結貸借対照表

(単位：億円)

資産の部	2023年3月期 期末(A)	2024年3月期 3Q末(B)	増減 (B - A)
流動資産	269	278	+9
固定資産	149	145	△4
資産合計	418	423	+5

資産の部 サマリー

【流動資産】

現金及び預金

+11億円

税金等調整前四半期純利益計上による収入等の増加

棚卸資産

+11億円

生産工程、受託開発やシステム構築案件に関わる

仕掛品の増加および製品在庫の増加

売上債権

△16億円

受取手形及び売掛金の回収

【固定資産】

投資有価証券

△6億円

政策保有株式の縮減および時価評価の洗替

1-7 連結貸借対照表

(単位：億円)

負債・純資産の部	2023年3月期 期末(A)	2024年3月期 3Q末(B)	増減 (B-A)
流動負債	136	130	△6
固定負債	33	30	△3
負債合計	169	159	△10
純資産合計	249	264	+15
負債・純資産合計	418	423	+5
自己資本比率	59.6%	62.3%	+2.7%

負債の部 サマリー

仕入債務 △5億円 資材および部品等の支払いによる減少
有利子負債 △4億円 長短借入金の返済による減少

2

2024年3月期 連結業績予想修正

2 連結損益計算書

(単位：億円)

	2023年3月期 実績	2024年3月期 予想 (A) (2023/11/10公表)	2024年3月期 予想 (B) (2024/2/9公表)	増減 (B-A)
連結売上高	373	410	410	±0
連結営業利益	24	27	30	+3
連結経常利益	24	27	30	+3
親会社株主に帰属する当期純利益	6	18	26	+8
1株当たり当期純利益	103.07円	308.22円	445.21円	+136.99円
配当	35円	95円	135円	+40円

【営業利益・経常利益】

管理可能費の削減

+1億円

活動経費等の見直し

新規事業への成長投資ならびに

DXサービス基盤構築投資

+2億円

次期中期経営計画期間での実行に延伸

【親会社株主に帰属する当期純利益】

投資有価証券の売却

+3億円

政策保有株式の縮減

法人税等の減税

+2億円

賃上げ促進税制による減税および
オフィス移転に伴う横浜市税制優遇による減税

【配当】

配当修正

+40円

親会社株主に帰属する当期純利益増益予想により増配



ビジョン (目指す姿)

つなげる技術の、その先へ。

心地よい暮らし、つまり、
安心で安全、快適で便利な環境の実現に向けて。
つなげる技術を、さらにつなげていくこと。
それを、お客様の明日へとつなげていく、サクサです。